

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------------------|-----|--------------|
| ○事業所名 | キッズワンハート知多にしの台教室(うみ、そら教室) | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年 2月 2日 | | 2026年 2月 14日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 48人 | (回答者数) 31人 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年 2月 20日 | | 2026年 2月 28日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 19人 | (回答者数) 12人 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 3月 10日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮を行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所では利用者様の「選択制」と「意思決定」に重きを置いて支援を行っている。 ・スケジュールボードや余暇選択ボードを視覚的に示し自己決定支援に繋げている。 ・絵カードやジェスチャーを始めとして、利用者様の「声なき声」に対応することができるように情報の収集や共有、支援方法の検討を行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様一人ひとりの特性に応じた意思表示方法(視覚支援・絵カード)の充実を図る。 ・職員間での支援方法の共有や振り返りを行い、意思決定支援の質の向上に努める。 ・保護者様や関係機関との情報共有を継続し、利用者様が安心して意思を表現できる環境づくりを進める。 |
| 2 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。定期的に保護者様と面談を実施し、保護者様の困り感に寄り添いながら必要に応じて助言や支援を行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本事業所と最初に契約を交わす際には、各項目について読み上げを行いながら疑問点がある場合にはその都度質問をいただいている。 ・半年に1回の面談や送迎時、お電話等でお話しさせていただいている。 ・半年ごとの面談に加え、必要に応じて短時間の個別相談の機会を設けている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者が相談しやすいよう、相談しやすい雰囲気づくりや声掛けを意識する。 ・保護者からの困りごとや要望について、職員間で共有し支援内容に反映する体制を強化する。 |
| 3 | 災害発生時の対応についてBCP計画を策定し、非常時に備えた訓練を行っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・BCP計画の策定の中で、緊急時に備えた食品を含む備蓄品のリストを作成し、事業所内で場所を決めて保管している。定期的リストを確認し、不測の事態でも過不足無く対応できるよう準備をしている。 ・多種多様な不測の事態を想定し、避難訓練を実施している。避難訓練は原則2か月に1度のペースで開催している。 ・緊急時にスタッフが迅速に行動する事ができるようさらなるスキルの向上と定着を目指している。外部機関に協力を要請し、救急救命講習を実施している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後は、実際の災害を想定した実践的な訓練の実施や、地域の防災機関との連携強化、備蓄品の定期的な見直しを行い、より実効性の高い防災体制の整備に努めていく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援、また、きょうだい同士で交流する機会を設けられていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会や父母の会の活動、保護者同士およびきょうだい同士が交流する機会については、これまで十分に実施できていない。 ・ご利用者の障害種別が多様であることに加え、就労している保護者が多く、時間調整が難しいことや多忙により参加が難しい状況がある。 ・事業所として交流機会の開催案内や企画を十分に行えていなかった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後は、保護者の参加状況やニーズを踏まえながら、保護者同士が交流できる機会の検討を行い、負担の少ない形での保護者会や交流の場の設定に努めていく。 ・事業所からの案内や情報発信を適切に行い、保護者同士やきょうだい同士がつながる機会づくりについても検討し、可能な範囲で実施していく。 |
| 2 | 家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が行われていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者様とスタッフが情報の交換・共有を行っているが、ペアレントトレーニングは実施できていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・SNS等を用いて、市より紹介いただいた研修や、保護者様より紹介いただいた研修について情報提供を行う。 |
| 3 | 放課後児童クラブや児童館との交流を設けられていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブを併用、送迎を行っている利用者様もいる。 ・ご利用者の障害種別が多様であるため交流の難しさがある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の公園と一緒に関わる機会を増やしていく。 |